

天童市議会だより

2011
11.1
No. 134
TENDO



平成23年9月25日執行 天童市議会選挙で当選した議員22人（10月1日撮影）

10月臨時会 改選後、初の臨時会を開催。議長・副議長を選出

新議員の紹介…………… 2～3 初議会…………… 4～5

9月定例会

一般質問…………… 6～9 討論・意見書の提出…………… 14
総括質疑…………… 10 提出議案と結果…………… 15
予算特別委員会…………… 11 市民の声…………… 16
決算特別委員会…………… 12～13

紹介事項

議席番号

氏名 年齢
党派 (当選回数)
職業
私の抱負

住所：
Tel：

紹介します

議員です。
の持てるまちづくりのために頑張ります。

9 やまぐち けいこ
山口 桂子 49歳
無所属 (3回)
薬剤師
子育て支援・高齢者福祉を中心に、輝く町の為笑顔で頑張ります。

住所：天童市久野本三丁目8番10号
Tel：653-2221

5 むらやま としお
村山 俊雄 64歳
無所属 (2回)
農業
若者が定着、子どもを産み育てられる住みよいふるさとをつくりまします。

住所：天童市大字山口666番地
Tel：656-2374

1 たけだ しょうじ
武田 正二 53歳
無所属 (1回)
市議会議員
災害に強く元気な町づくり、住んで良かったと言える天童をめざす。

住所：天童市北久野本二丁目2番8号
Tel：653-6540

10 かいほこ たかし
海鋒 孝志 61歳
無所属 (3回)
市議会議員
市民生活最優先の施策形成の為、議会活性化に取り組みます。

住所：天童市大字川原原329番地
Tel：656-2875

6 か の よしかず
狩野 佳和 46歳
無所属 (2回)
自営業
子育て安心・長生き安心・観光の活発な街天童をつくる為に働きます。

住所：天童市田鶴町四丁目14番17号
Tel：653-6843

2 みと よしみ
水戸 芳美 55歳
無所属 (1回)
市議会議員
天童の「未来につながるまちづくり」をめざして一生懸命頑張ります。

住所：天童市大字山口2056番地
Tel：656-2496

11 きむら たけとら
木村 竹虎 39歳
民主党 (3回)
自営業
市民の皆様の為、党派を超えた議論を行ってまいります。

住所：天童市老野森三丁目8番25号
Tel：656-9766

7 まつだ みつや
松田 光也 59歳
自由民主党 (2回)
市議会議員
市民の代表として、活発な審議に臨み、議会の質と密度を高めます。

住所：天童市大字高木929番地
Tel：654-5635

3 えんどう けいとも
遠藤 敬知 57歳
無所属 (1回)
農業
元気で活力ある天童を復活させ、次代に誇れる“ふるさと”の創造。

住所：天童市大字高嶺南49番地の1
Tel：655-3261

12 あかつかこういちろう
赤塚幸一郎 65歳
無所属 (3回)
農業
市民のニーズや要望に対し民間の発想で行政のサービス向上に努めます。

住所：天童市大字貫津236番地
Tel：653-9389

8 やはぎ たけあき
矢萩 武昭 66歳
無所属 (2回)
市議会議員
山本市政を支え「市役所改革」「議会改革」に全力で取り組みます。

住所：天童市糠塚三丁目1番58号
Tel：653-8014

4 もてき こうゆう
茂木 孝雄 63歳
無所属 (1回)
市議会議員
常に市民の目線で市議会改革と天童の未来創りの初志を貫きます。

住所：天童市田鶴町一丁目3番17号
Tel：653-3554



新議員22人を

9月25日の天童市議会議員選挙で当選した22人の市民の皆さんと共に、明るく住みよい、生きがい

20 あさい けんいち
浅井 健一 72歳

無所属（6回）
市議会議員

市民一人ひとりに耳を傾け皆様の負託に応えるべく頑張ります。

住所：天童市大字高揃北53番地
Tel：655-2415

17 こまつ よしお
小松 善雄 69歳

無所属（4回）
農業

確かな経験と実績で、誠心・対話・実行を加え、全力で取り組みます。

住所：天童市小路二丁目6番32号
Tel：653-4847

13 ゆうき よしみ
結城 義巳 69歳

無所属（3回）
団体役員

さらに、市民のための議会になるよう、議会改革に頑張ります。

住所：天童市大字貫津1156番地
Tel：654-3679

21 いとう かずこ
伊藤 和子 63歳

日本共産党（7回）
市議会議員

市民の立場を貫き、防災・福祉のまちづくりに力を尽くします。

住所：天童市東本町二丁目4番11号
Tel：653-5196

18 すずき しょういち
鈴木 照一 43歳

無所属（5回）
市議会議員

皆様の「オモイ」を「カタチ」に。粘り強くまっすぐに取り組みます。

住所：天童市老野森二丁目7番11号
Tel：653-8168

14 ごとう かずのぶ
後藤 和信 62歳

公明党（4回）
政党役員

「一人一人を大切に」福祉の充実と子育て支援の向上に努力します。

住所：天童市泉町二丁目11番32号
Tel：653-7750

22 みと たもつ
水戸 保 60歳

無所属（5回）
農業

「あなたの声を市政に」を掲げ16年、初心を忘れず勇往邁進します。

住所：天童市大字奈良沢乙13番地
Tel：653-7767

19 いとう もりくに
伊藤 護國 68歳

無所属（5回）
市議会議員

特色ある地方自治体をめざして、全力で取り組みます。

住所：天童市大字道満256番地
Tel：654-6667

15 やまざき さとし
山崎 諭 62歳

無所属（4回）
農業

市民の声を市政に届け、より住みよい地域づくりに頑張ります。

住所：天童市大字蔵増甲1067番地
Tel：653-8255

新議員の年齢構成と当選回数

年齢構成	
年齢	人数(うち女性)
～39	1
40～49	3 (1)
50～59	4
60～69	13 (1)
70～	1
平均	59.4歳

当選回数	
回数	人数(うち女性)
1回	4
2回	4
3回	5 (1)
4回	4
5回	3
6回	1
7回	1 (1)

16 いしがき しょういち
石垣 昭一 62歳

日本共産党（4回）
農業

災害に強い、互いに助け合う福祉・防災のまちづくりに全力をあげます。

住所：天童市大字寺津158番地
Tel：653-3715

初議会 (第4回臨時会)

改選後、初の臨時会を開催

議長 水戸 保
副議長 鈴木照一 を選出



▲10月5日、議長、副議長選挙開票の様子

10月5日に改選後の初議会が開催され、投票による選挙によって、議長、副議長を選出しました。また、10月11日の本会議において、常任委員会委員等をはじめ、議会選出監査委員や各種審議会委員等の選任を行い、新しい議会の構成が決定しました。

■議長選挙の投票結果

水戸 保 12票
浅井健一 7票
伊藤和子 2票
無効票 1票

■副議長選挙の投票結果

鈴木照一 11票
海鋒孝志 5票
石垣昭一 2票
山崎 諭 1票
結城義巳 1票
無効票 2票

就任のあいさつ



副議長
鈴木 照一

議長を補佐し、建設的で闊達な議論を通し、市勢の更なる発展を目指して参ります。



議長
水戸 保

秩序ある議論を展開しながら、議会の活性化と、開かれた議会を目指します。

委員会の構成

◎印 委員長
○印 副委員長

常任委員会	総務教育常任委員会 7人		◎赤塚幸一郎 伊藤 和子 茂木 孝雄	○木村 竹虎 後藤 和信 武田 正二	村山 俊雄
	環境福祉常任委員会 7人		◎山口 桂子 伊藤 護國 海鋒 孝志	○松田 光也 鈴木 照一 遠藤 敬知	石垣 昭一
	経済建設常任委員会 7人		◎山崎 諭 浅井 健一 矢萩 武昭	○狩野 佳和 小松 善雄 水戸 芳美	結城 義巳
議会運営委員会 7人		◎矢萩 武昭 結城 義巳 松田 光也	○山崎 諭 赤塚幸一郎 狩野 佳和	山口 桂子	
諸会議	広報委員会 6人	◎狩野 佳和 伊藤 和子	○矢萩 武昭 結城 義巳	遠藤 敬知 武田 正二	

議会選出の委員・組合委員

天童市監査委員	小松 善雄
天童市農業委員	村山 俊雄
東根市外二市一町 共立衛生処理組合議員	矢萩 武昭 松田 光也 狩野 佳和
天童市都市計画 審議会委員	浅井 健一 後藤 和信 海鋒 孝志 遠藤 敬知 水戸 芳美 武田 正二
天童市民生委員 推薦会委員	山口 桂子 松田 光也
乱川河川改修促進 期成同盟会委員	水戸 保 伊藤 護國 海鋒 孝志 松田 光也 村山 俊雄 水戸 芳美
天童東根村山線整備 促進期成同盟会委員	水戸 保 山崎 諭 伊藤 護國 海鋒 孝志 村山 俊雄 水戸 芳美
田井橋再架促進 期成同盟会委員	水戸 保 山崎 諭 松田 光也
留山川ダム建設促進 期成同盟会委員	水戸 保 鈴木 照一 山崎 諭 狩野 佳和 伊藤 護國 海鋒 孝志 松田 光也 村山 俊雄 水戸 芳美

会派の構成

主義主張を同じくする議員が集まってつくる団体を会派（交渉団体）といいます。本市議会では、規定により、3人以上の議員で結成することになっています。

会派の構成は、次のとおりです。

清 新 会	伊藤 護國 村山 俊雄 鈴木 照一 小松 善雄 山崎 諭 赤塚幸一郎 山口 桂子 矢萩 武昭 遠藤 敬知 水戸 芳美 武田 正二
自公・政和会	結城 義巳 松田 光也 後藤 和信 浅井 健一
民主市民クラブ	狩野 佳和 木村 竹虎 海鋒 孝志

※会派に属さない議員

伊藤 和子 石垣 昭一 茂木 孝雄
水戸 保（議長）

※議長は、申し合わせ事項により、任期中に限り、会派から離脱しています。

各種委員等の選挙

委員等の名称	人数	委 員
選挙管理委員会委員	4	齋藤 浩一 秋葉 俊一 柴崎那保美 山口 賢一 (高 揃) (一日町) (久野本) (津 山)
選挙管理委員会補充員	4	藤山庄一郎 五十嵐雪子 伊藤 栄子 近野 和弘 (荒 谷) (蔵 増) (山 口) (千 布)
干布地区財産区管理会委員	7	蜂谷 勝実 水戸 保 水戸部光昭 奥山 嘉内 工藤 義美 工藤 秀世 石山 光昭
高揃地区財産区管理会委員	7	浅井 健一 佐藤圭一郎 小山田忠雄 瀬野 弘一 工藤 明夫 土屋 健吾 長岡 繁
大字高揃有財産区管理会委員	7	押野 奎治 浅井 健一 岡崎 俊雄 齋藤 浩一 佐藤 繁雄 遠藤 宏一 遠藤 敬知
大字荒谷有財産区管理会委員	7	牧田 亮一 藤山 潤 村形 仁秀 渡邊 邦彦 武田 道雄 武田 友弥 佐藤 春美

天童市議会の構成

議会	常任委員会	総務教育常任委員会	総務部、会計課、消防本部、教育委員会等を所管・審査
		環境福祉常任委員会	健康福祉部、市民部、市民病院を所管・審査
		経済建設常任委員会	経済部、建設部、水道事業所、農業委員会を所管・審査
	議会運営委員会		
	特別委員会	予算特別委員会	予算についての審査
		決算特別委員会	決算についての審査
	諸会議	全員協議会	議会内部の問題として意思疎通等を図る必要があると認めた場合、議長が招集し、議員全員で協議する。
		広報委員会	市議会だよりの発行、ホームページ等の議会の広報に関すること。
		各派代表者会	各会派の代表者で構成され、各会派間の意見の調整及び協議等の必要があると認められる場合、議長が招集する。

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、8月26日・29日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。

芳賀土地区画整理事業の開発内容のほか、東日本大震災を踏まえた本市の今後の対応や放射能被害対策等について、市長、教育長等の見解を求めました。

芳賀土地
区画整理

事業の進捗と



狩野佳和議員

芳賀の土地

区画整理事業
が28年度完成

を目指し、進行中である。当初より遅れているように見えるが、現在の進捗状況と今後の計画について伺いたい。また天童駅から南方2^{キロメートル}、高揃駅の北方1・3^{キロメートル}の地点に、新駅建設の構想がある。市全体のまちづくりビジョンが不明確であり、新駅は不要と考えるが市長の考えを伺いたい。

山本市長

28年度の完成を目指すし、区画整理組合施行の芳賀土地区画整理事業の進捗状況は、平成22年度末の進捗率は、事業費ベースで16%と順調に整備が進められている。

今後の計画は、引き続き家屋移転や道路、上下水道等の公共施設の整備促進を図るとともに、宅地の盛土整地を行い、10月には保留地の販売を開始

新駅建設構想は

すると伺っている。

また新駅構想については、

第六次天童市総合計画に掲げているとおり、高齢化社会等への対応を視野に入れていくところである。新駅設置は、芳賀地区に新たに居住する住民はもとより、南部地区の既成市街地に居住する住民、さらにはJリーグをはじめとする様々な大規模大会が開催される県総合運動公園の最寄り駅として多くの方々の利便性の向上につながるものと考えている。新駅設置には、道路の配置計画や駅前広場等に必要用地の確保が不可欠であり、土地区画整理事業と並行して進めることが必要であると考えている。



▲平成28年の完成が待たれる

質問者と質問事項（☆印は党派名）

★民主天童クラブ

狩野佳和議員

- * 芳賀土地区画整理事業について
- * 子育て支援施設について
- * 山形天童線（高揃〜芳賀）の道路整備について

★政和会

松田光也議員

- * 観光イノベーションの推進について
- * 魅力あるまちづくりを目指して
- 結城義巳議員
- * 天童市民病院の経営について

★かがやき

松田耕一議員

- * 天童市民病院のあり方について
- * 芳賀土地区画整理地内の開発について
- 矢萩武昭議員
- * 東日本大震災を踏まえた本市の今後の対応について

後藤和信議員

- * 放射能対策について
- * 子ども救命士（小中学生）の育成について
- * 児童館の開館時間等について
- * マイ保育園登録制度について

山口桂子議員

- * 税収等の確保と施策の実現について
- * 高齢者への福祉向上のために

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

- * 放射能被害対策について
- 伊藤和子議員
- * 芳賀土地区画整理事業のまちづくりへの市のかかわり方について
- * 教職員の多忙化を解消し、子どもがいいきいきと学べる学校に

武田達郎議員

- * 天童高原の開発について
- * 遺跡発掘について

市税等の徴収強化と

ふるさと納税について



山口桂子議員

近年の社会情勢等の影響で、市税の減

収傾向が続いているようだが、市税等の滞納状況と徴収強化対策はどうなっているのか。また、もつとふるさと納税への理解を広めて、財源確保する考えはあるのか。

山本市長 今年度の個人市民税や固定資産税等は、昨年度に比べ減少し、市税全体の決算見込みは減少すると推計している。本市の滞納税額は、7月末現在で、市税が約9億円、国民健康保険税が約6億1000万円等となっている。滞納者の実態把握と滞納整理を厳格化し、差押え等の滞納

処分を行っている。自主財源と税負担の公平性の確保のため、今後も徴収強化に努めたい。

本市のふるさと納税の実績は、20年度が15件で151万円、21年度が7件で220万円、22年度が12件で135万3000円となっている。ふるさと納税は、ふるさとに目を向けることにより、ふるさとの活性化を図る制度であるので、応援したいと思われるような魅力ある施策とまちづくりを推進していきたい。

芳賀土地地区画整理地内の

開発について



松田耕一議員

10月1日より天童芳賀タウンが宅地分

譲開始の予定だが、現在芳賀地区に計画している事業全体の内容を伺いたい。同地区には子育て支援施設を建設する計画だが、内容をお伺いしたい。パルテ1階にはわらべ館、わくわくランドには大型遊具を設置した公園があるが、これらとの整合性をどう考えているのか。

留地の処分金約72億4000万円、合計約100億8000万円である。区画整理地内において市が整備する施設は、子育て支援施設のほか、4つの公園、上下水道の整備を予定している。新駅設置は今年度JR東日本の調査結果を待ってから検討したい。

区域内の子育て支援施設については、屋内型の広場を中核として、子育てに関する相談や情報提供、保護者同士の交流機能、ボランティアサークル育成などの機能を持たせたいと考えている。整備概要については、市民検討委員会において、現在、検討いただいているところである。

東日本大震災を踏まえた

今後の対応について



矢萩武昭議員

東日本大震災を受けて、

同規模の震災

が本市においても起こる可能性が現実のものとなった。①関係団体との緻密な調整を図り、②本市の「地域防災計画」の全面的な見直しに速やかに取り組むべきではないか。

山本市長 地域防災計画は、国の指針や県の地域防災計画の修正等に沿って、平成10年及び20年に全面修正し、12年及び16年に一部修正してきた。昨年度、本市では16年度に作成した防災マニュアルの見直しに着手したが、東日本大震災の対応のために、見直し作業が中断している。現在は、

東日本大震災への対応で明らかとなった課題について、自主防災会や各課等から寄せられた意見を防災マニュアルの見直しに反映させるべく、取りまとめを行っている。自主防災会等からは、十分な対応や行動をとることができなかったという反省もあったので、自主防災会が行うべき活動のマニュアルの周知・啓発に努めるとともに、本年度から、国・県の修正に合わせて、地域防災計画の修正に着手したい。



▲整備が進む芳賀地内

山本市長 区画整理組合が施行する芳賀土地地区画整理事業の事業費は、都市計画道路の整備に対する補助金27億3000万円、公園用地に対する公共施設管理者負担金約1億7000万円、組合員の土地の減歩によって生み出される保

留地の処分金約72億4000万円、合計約100億8000万円である。区画整理地内において市が整備する施設は、子育て支援施設のほか、4つの公園、上下水道の整備を予定している。新駅設置は今年度JR東日本の調査結果を待ってから検討したい。

天童高原の利活用について



武田達郎議員
自然豊かで、風光明媚な環境が整ったところは何としても生かさなければ、本市のマイナスである。開発に向けた大型プロジェクトを早急に立ち上げ、

大胆な発想のもと検討を行い、コテージやパークゴルフ場、

温泉等を整備して老若男女の賑わう場所にすべきと思うが市長の考えを伺いたい。

山本市長 天童高原は、緑豊かで自然環境にも恵まれた市民の憩いの場であり、市の貴重な観光資源である。しかしながら、利用者ニーズの多様化等に対応しきれず、天童高原の資源の多くが活用されないまま、

年々利用者数の減少が進む状況である。

今年度末の天童市牧野公社の解散により、今後の天童高原のあり方や施設の利活用について、現在、計画書を策定中であるが、スキー事業と草地管理については、存続する方向で検討している。天童高原の今後については、地域の方々をはじめ、市民の皆様や関係団体のご意見、ご要望をいただきながら、事業内容を十分精査し、今後の利活用の方針を決定していきたい。

観光イノベーションの推進について



松田光也議員
3月11日の大震災により県内への観光

客が激減し、本市でも経済が厳しい状況にあり、観光客の誘客を積極的に取り組む必要がある。市内の観光はもちろん、近隣の観光地と連携しながら観光客がまた来たくなくなるような、観光イノベーションを推進すべきと思うが市長の考えをお伺いしたい。



▲着地型旅行商品を企画して実施した街歩き

山本市長 昨年2月に、花のやまがた観光圏推進協議会が設立され、「めでたためた♪花のやまがた観光圏」が、村山の地域で7市7町で形成された。そこでは圏域内の観光資源を活用した、2泊3日以上以上の滞在型観光事業を推進しており、天童温泉と山寺の連携による山寺ライトアップツアー等を実施したところである。

今年度は、観光圏推進事業として、豊かな自然や四季折々の食と健康ウォーキングを組み合わせた天童型クアオルトの策定に向けて、舞鶴山、天童高原などを中心に現地調査を行っている。今後とも県及び観光圏推進協議会をはじめとした観光関係団体との連携を一層強化し、国内外の観光誘客事業等に積極的に取り組む、地域経済の活性化に努めたい。

(注) 観光イノベーション＝観光における新商品の導入、観光資源の新たな開拓など。

天童市民病院の経営について



結城義巳議員
企業会計の損益計算では、収入から現金

支出の伴わない建物等の減価償却費等も差し引くので、その結果、減価償却費以内の赤字であれば、経営努力は評価したい。22年度の決算を、そのように考えれば、純損失か

ら減価償却費を差し引くと黒字となる。正しい情報を、広報紙等で市民に知らせる必要があると思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 22年度の市民病院の決算については、純損失が1億4570万1000円、その損益計算では、現金支出が伴わない減価償却費1億8

921万7000円、資産減耗費53万円、及び特別損失108万1000円が含まれている。これらを差し引くとキャッシュフローからみて、4512万7000円のプラスとなる。企業会計では、現金支出が伴わないものも経費として計上されるため、会計上はマイナスであっても、資金的にプラスになる場合もあることから、市民にとって分かりにくい面もあるかもしれない。今後、整理してしっかりと広報に努めていきたい。

も士
ど命
子救

子ども救命士（小中学生）の 育成について

後藤和信議員



子ども救命士の育成を通して児童生徒に命の大切さや、救急救命の知識を幼少の時から身に付けてもらうことによって、将来大人になった時に役立てて、市民の救命率の向上につなげるために、子ども救命士の事

業をどう考えるのか。また、

一家に一人の救命士の育成を
考えるべきではないか。

水戸部教育長 学校における

安全教育は、児童生徒の命を守るうえで、欠かすことのできない最も重要な教育活動である。子ども救命士については、応急手当の心得があれば、救命の備えができるのではと

とも支援していきたい。

山本市長 応急手当の推進の
まちということでは一人

の救命士ということは大変よろしいかと思う。ただ、このたびの大震災等も教訓としながら、この救命士の問題だけでなく、様々な対応を検討していかなければならないと考えている。

教職員

教員の配置状況と 勤務実態について

伊藤和子議員



教員の配置
状況と正規、
非正規の状況。

また、教員の時間外勤務や自宅持ち帰り仕事の実態は。国が「月80時間」を過労死ラインとしているが、教員の健康実態をどう把握し、どう対策を講じているか。

授業準備時間や子どもと触れ合う時間をどう確保しているか。

水戸部教育長 本市の小中学校の定数内教職員数は、34

3人であり、そのうち常勤講師が15人である。この度の東日本大震災対応の非常勤講師を含めて23人の非常勤講師が配置されている。

教職員の時間外勤務と自宅

持ち帰りの仕事の実態については、22年度の調査では、小中学校においては、1週間平均で時間外勤務が9・2時間、自宅持ち帰りの仕事量が5・2時間で、合計14・4時間となっている。中学校においては、1週間平均で時間外勤務が12・6時間、自宅持ち帰りの仕事量が2・9時間で、合計15・5時間である。社会の変化に応じた様々な改革が学校に求められている。教職員に新たな能力が求められている現実もあり、研修の機会を確保したり、すこやかスクール支援員等を配置したりするなどして対応している。

教職員は、勤務時間内はできるだけ児童生徒と向き合っている。そのため、授業準備などは、児童生徒が下校した後、時間外、あるいは自宅への持ち帰りにならないのが現状である。

放射能対策

放射能汚染による 農畜産物被害対策

石垣昭一議員



放射能汚染は福島だけでなく、県内農業にも大きな被害を及ぼし、

消費者の肉牛、米、果樹等への汚染の不安が高まっている。農家も消費者も安全な農産物の供給を望んでおり、検査体制の強化と消費者への安全・

安心の広報体制をどのように整備し、風評被害を防いでいくのか伺いたい。

山本市長 県においては、3月24日から主要な農畜産物を対象に、主産地のほ場のサンプルを採取して、放射性物質の検査を行っている。肉牛については、全国に先駆けて出荷段階での全頭検査を実施し

ており、米の検査については、8月下旬からの予備調査のほか、9月中旬からの本調査も予定している。本市としても、県によるオール山形での検査体制との連携強化や、協力体制の充実を図りたい。

また、風評被害への対応として、県は検査結果を公表し、消費の喚起と安全・安心をアピールしている。本市としては、放射性物質の検査と同様に、県との連携を強化し、消費喚起や安全性をアピールし、風評被害の払拭に努めたい。



▲小学校の授業風景

議会のうどき

- 7月
 - 28日 議会運営委員会
- 8月
 - 8日 天童夏まつり「花笠パレード」参加
 - 9日 山形県市議会議長会議員研究会（ビッグウイング）
 - 17日 議会運営委員会
 - 23日 東根市外二市一町共立衛生処理組合臨時会
 - 24日～9月13日 第3回市議会定例会
 - 24日 広報委員会
 - 30日 市長要請総務教育常任委員会（市民満足度・重要度アンケート調査結果について）
- 9月
 - 12日 議会運営委員会
 - 13日 広報委員会
 - 25日 市議会議員選挙投票日
 - 28日 初当選議員説明会
- 10月
 - 1日 初会合、全員協議会
 - 4日 各派連絡会議、臨時議会運営委員会
 - 5～11日 第4回市議会臨時会
 - 5日 全員協議会、仮各派代表者会、交渉会派会議
 - 6日 仮各派代表者会、臨時議会運営委員会
 - 11日 全員協議会、各派代表者会、議会運営委員会、広報委員会
 - 14日 広報委員会
 - 18日 初当選議員研修会
 - 21日 市長要請経済建設常任委員会（天童高原整備開発基本構想について）

総括質疑

8月30日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、日本共産党天童市議団の伊藤和子議員が総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

◆議第20号天童市市税条例等の一部改正について

税制改正

畜産農家への影響と不申告の状況は

伊藤(和)議員 附則第5条の免税対象飼育牛とは。また、改正で、要件上限を2000頭から1500頭にしますが、畜産農家への影響は。税の不申告に対する過料の額を3万円から10万円に引き上げるが、税の不申告の状況は。**総務部長** 家畜取引法に定められている家畜市場等での売却及び農協に委託しての売却で、売却価格が100万円未満の肉用牛が対象であり、本市で飼育されている肉用牛では、最大飼育農家でも約700頭、出荷頭数では3000頭未満であり、本市の畜産農家への影響は無いものと思う。平成23年度の市民税の納税義務者は2万8870人で、まだ申告をしていない方は536人で1・9%となっている。この内容としては、4月までの未申告者が876人で、5月以降に呼出し等を行って、そのうち340人が申告を行っており、その結果536人となっている。

平成22年度医療特別会計決算

◆歳入

(単位：千円)

款	決算額	摘要
1 分担金及び負担金	20,859,749	各市町村からの負担金
2 国庫支出金	47,184,452	国からの負担金、交付金等
3 県支出金	10,996,435	県からの負担金
4 支払基金交付金	55,036,154	支払基金が各保険者から後期高齢者支援金を徴収し、広域連合に交付するもの
5 特別高額の医療費共同事業交付金	17,012	
6 繰入金	1,476,460	一般会計等からの繰入金
7 繰越金	3,900,186	前年度からの繰越金
8 諸収入	145,688	延滞金、預金利息等
合計	139,616,136	

◆歳出

(単位：千円)

款	決算額	摘要
1 総務費	473,092	医療通知費、電算処理手数料等
2 保険給付費	132,918,892	医療費、高額療養費、葬祭費等
3 県財政安定化基金拠出金	108,000	
4 特別高額の医療費共同事業拠出金	8,791	
5 保険事業費	191,822	健診事業を市町村に委託
6 基金積立金	1,129,597	円滑運営臨時特例基金積立金
7 諸支出金	1,922,014	過年度返還金
8 予備費	0	
合計	136,752,208	

山形県 後期高齢者医療広域連合議会

7月26日、山形県国保会館（寒河江市）において、広域連合議会が開催され、平成22年度決算を認定、平成23年度補正予算（第1号）を可決しました。また、副広域連合長に遠藤直幸山辺町長を、監査委員に斉藤栄治山形市議会議員をそれぞれ選任しました。



▲予算特別委員会での審査

予算特別委員会

23年度一般会計補正予算 3億7799万2000円を 増額補正

一般会計補正予算及び各特別会計補正予算8件は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

防災対策に要する経費の内容は

委員 機械器具購入費900万2000円の内容について、どのような防災用品を購入し、どこに設置するのか。

市長公室長 3・8キップ発電機をはじめ、LED照明、ハロゲン投光機などを購入する経費で、市立公民館に備える計画である。

民生委員活動費の増額内容は

委員 民生委員活動費を69万5000円増額する理由は、社会福祉課長 現在、民生委員の活動費は、年額5万2500円となっているが、本市と民生委員活動費の支払委託を締結している県からの通知

があり、民生委員の活動費年額が一人当たり56000円加算され、年額5万8100円となったことによるものである。

認可外保育施設の支援内容は

委員 認可外保育施設すこやか保育事業費補助金として、20万9000円増額になっているが、その理由は、

委員 認可外保育施設すこやか保育事業費補助金として、20万9000円増額になっているが、その理由は、夏期の電力需給対策として、日曜日の勤務に対応するため、認可外保育施設を9月末まで1カ所開設する経費である。

委員 住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金として、360万円増額となっているがその理由は、

委員 住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金として、360万円増額となっているがその理由は、当初予算で300万円を計上していたが、6月7日現在で26件の申請があり、予算を使い果たした。その後も問い合わせが多数あり、需要に対応するため、増額するもの。

地球温暖化防止対策の補助金増額の内容は

委員 住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金として、360万円増額となっているがその理由は、

委員 住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金として、360万円増額となっているがその理由は、当初予算で300万円を計上していたが、6月7日現在で26件の申請があり、予算を使い果たした。その後も問い合わせが多数あり、需要に対応するため、増額するもの。

旧東村山郡役所資料館の修繕内容は

委員 修繕料として70万4000円を増額する内容は、

文化スポーツ課長 今年の大雪の影響によるスガ漏れのほか、東日本大震災の損害もあり、このたび漆喰の一部を修繕するもの。

稲作振興に要する経費増額の内容は

委員 環境保全型農業直接支払交付金を4万4000円増額する具体的な内容は、

農林課長 23年度からの新規事業である。①エコファーマー認定を受けていること。

委員 土砂災害対策事業負担金1160万円の内容は、建設課長 県が実施する北目地内の急傾斜地崩壊対策事業費に対する10%の本市の負担金である。場所は舞鶴山の南斜面で、延長が240m、法面の面積は2430平方メートルの面積を予定している。

北目地内の急傾斜地崩壊対策は

②農業環境規範に基づく点検を行っていることが要件である。水稲の有機栽培農業の振興に対する交付金で、10ア当たり、国が4000円、県と市が各2000円、合計8000円の補助になる。

一般会計補正予算(第3号)のあらまし

補正額 3億7799万2000円
予算総額 204億8607万6000円

◆主な内容

(単位：千円)

防災対策に要する経費	9,056
社会福祉一般に要する経費	738
障がい者の一般福祉に要する経費	1,364
地球温暖化防止対策に要する経費	3,600
果樹の振興に要する経費	31,070
農用地の整備に要する経費	3,420
明治大学・天童市連携事業に要する経費	225
土木行政の一般事務に要する経費	11,600

決算特別委員会

一般会計を含む14件について認定

平成22年度一般会計決算をはじめ、11件の特別会計決算、水道事業会計及び市民病院事業会計決算の計14件が提出され、決算特別委員会に付託されました。

審査の内容の主なものは次のとおりです。

東日本大震災の避難者は

委員 3月11日に発生した大震災において、他県からの避難者の受け入れ状況は。

市長公室長 3月15日からスポーツセンターと総合福祉センター等の避難所に最大218人が避難されていた。

8月24日現在606人の方が避難されている状況であり、内訳としては、県営・市営住宅等に17人、民間の賃貸住宅に480人、知人・親戚宅に36人、旅館・ホテル等に73人となっている。

デマンド型乗合タクシーについて

委員 デマンド型乗合タクシー



▲導入されたはしご車

シーは市営バスに比べて利用者が減っているようだが、その原因をどう見ているのか。

生活環境課長 会員登録や前日までの予約が煩わしいという声がある。23年度からは、一部地域で戸口から戸口へのデマンド型交通にしている。今後とも検証しながら利用者が利用しやすい形にしていきたい。

35級はしご車導入について

委員 35級先端屈折水路付はしご車を導入したが、その運用基準は。また、納入後間もなく車両に事故が発生したが、事故と修繕経費の内容は。

消防署長 不特定多数の人が出入りするホテル等の3階建以上の建物と、それ以外では4階建以上の建物の火災の時に出勤する。新しいはしご車を当該建物まで派遣して、配置場所についても確認しているところである。

消防課長 当初納入を3月18日に予定していたが、震災の影響で3月22日に納入された。3月24日に引渡し式の準備をするために車庫から出そうとしたところ、初めて導入された4輪操舵方式の車両に慣れていなかったために、車庫の柱と車両の右側後部が接触したものである。修繕費用47万5000円は全額自動車損害保険の適用を受けた。

消費者相談の内容は

委員 消費者相談の内容とその対応は。

生活環境課長 相談件数は146件で、金融関係が20件、住宅や太陽光発電関係が17件などとなっている。今までは市職員が対応していたが他の仕事と兼務となっていた。今年度から、嘱託職員の消費生活相談員を配置して専門に対応している。

総合型地域スポーツクラブについて

委員 総合型地域スポーツクラブの経営状況と現状は。また、スポーツセンター事業との整合性は。

文化スポーツ課長 21年度にあかねエンジョイクラブを立ち上げ、会員が109人に増えたが、会費を含めた事業費の総額は、109万9027

円である。主な経費は講師謝金や広報費などであり、まだまだ独立採算できないのが現状である。

総合型地域スポーツクラブのあり方については、基本的に継続する方向で考えているが、スポーツセンターで実施している教室との競合もあり、全市的に拡大した取り組みにできないかを含めて検討していきたい。

プレミアム商品券の換金額は

委員 プレミアム商品券で、実際に使われて換金された額は。

商工観光課長 発行総額1億1000万円のうち、実際換金されたのは1億979万4000円で、20万6000円分が換金されなかったものと思われる。

観光客誘致について

委員 観光客が前年度より減少しているがその理由は。そのなかで若松寺だけが増加しているがその要因は。

商工観光課長 平成21年にはNHKの「天地人」と映画の

「おくりびと」があったが、そのブームが長続きしなかったことと、東日本大震災が影響しているものと考えている。若松寺については、毎月第一日曜日に縁結び祈願祭を行っており、特に若い女性に人気があるためである。

市営住宅使用料の未納は

委員 市営住宅使用料の滞納繰越分の収入が10%以下と少ないが、その理由と催促等は、**建設課長** できるだけ現年分の未収金額を少なくするように、現年度を優先して徴収している。建設課で電話や個別訪問等催促を行っている。

工事関連補償費の明細は

委員 天童公園整備の愛宕沼関連の工事関連補償費の明細は。
都市計画課長 個人情報保護の立場から、非公表とさせていただきます。

建設部長

建物移転の補償が3件。公共事業執行上支障をきたすので、個別の補償金額についての公表は控えさせていただきます。



▲整備中の愛宕沼

社会教育団体の現状は

委員 各種社会教育団体の実態は。また、活性化のためどんな支援をしているのか。
生涯学習課長 市連合婦人会は田麦野を除く12地区に3700人の会員がいる。市若妻会連絡協議会は平成22年度末で解散した。また、青壮年会は21団体800人の会員で活動している。

各団体への事業費補助金の交付とともに、連携を取りながら、活性化を図りたい。

特別支援教育コーディネーターについて

委員 特別支援教育コーディネーターを養成してきたが、研修修了者数とスーパーコーディネーターの役割は。

学校教育課長

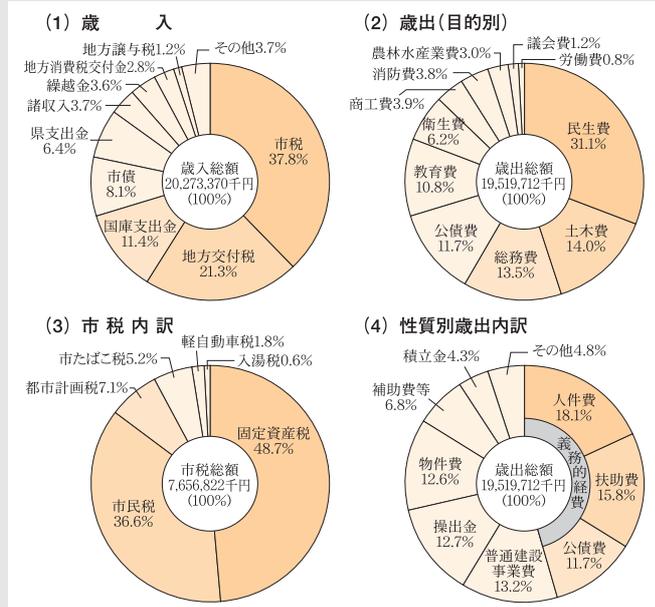
コーディネーター研修会の修了者は平成21年度36人、平成22年度40人であり、修了者を対象にしたスーパーコーディネーター研修会の修了者は23人である。今後も全教員が基礎講座を受講できるように継続していく。

現在さらに上級の研修も行っており、各校の巡回相談に同行し、発達障がいを持つ子どもの実態把握と、指導援助ができるようにしたい。

市民病院事業会計について

委員 市民病院事業会計に一般会計からの繰入金を経常収益としているので赤字が少なくなっているのではないか。繰入金の中で国からの交付金額はどのくらいになるのか。
市民病院事務局長 地方公営企業法に基づいて決算報告をしている。一般会計からの繰入金は、救急医療の確保に要する経費や企業債償還金など、総務省が定めた繰入基準により約4億円繰り入れている。国からの交付税措置額は2億2165万円となっている。

普通会計歳入歳出決算図表



※普通会計は、総務省で定める基準により作成される会計で、一般会計及び用地買収、鉾ノ町、市民墓地の各特別会計を合算したものです。

平成22年度 各会計の決算額

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	20,229,478	19,489,426
特別会計	13,697,549	13,312,626
国民健康保険	6,374,720	6,158,658
老人保健	69,267	69,267
用地買収	3,091	74
財産区	2,299	1,424
交通災害共済	90,731	90,731
都市計画公共下水道	2,215,359	2,178,246
鉾ノ町土地区画整理	283,360	275,431
介護保険	3,676,502	3,585,856
市民墓地	4,254	1,594
後期高齢者医療	524,059	509,608
工業団地整備	453,907	441,737

水道事業会計 当年度純利益 134,896,178円
市民病院事業会計 当年度純損失 145,701,362円

討論

9月13日の本会議において、決算1件及び請願1件について討論が行われました。

採決の結果、決算については賛成多数で認定、請願については賛成少数で不採択となりました。

▼認第1号平成22年度天童市一般会計決算

《反対》 石垣昭一議員

中学3年生までの医療費完全無料化事業、小中学校耐震化事業、35歳級先端屈折水路付はしご車整備事業等については評価するものであるが、次の点について反対する。

最初に、ふれあい荘・かまた荘公衆浴場指定管理委託料が、利用料金制度になり、利用料が指定管理者の収入となるにもかかわらず、指定管理委託料がその分下がっていないこと。

次に、周知期間が約1カ月で実施したデマンド型乗合タクシー運行で、利用者が減っており、経費が増えている現状で

あり、利用しやすいデマンド型乗合タクシーにする必要があること。

最後に、天童古城地区整備事業の工事関連補償金について、その内容と積算根拠について、個人情報ということでは説明を拒否しているため、決算の適正審査が行えないこと。

《賛成》 矢萩武昭議員

第六次天童市総合計画に基

づき、子育て家庭への経済的負担軽減である中学3年生までの医療費完全無料化、工業団地への企業誘致を促進する産業立地促進資金貸付、安全で安心して学べるための小中学校耐震化事業、源泉確保のための市民保養施設源泉掘削事業、また、有事に備えた35歳級先端屈折水路付はしご自動車整備事業など「笑顔にぎわい しあわせ実感 健康都市」の実現を図るため、各種施策を着実に推進してきた。

平成22年度の実質単年度収支は約1億8700万円の赤字となり、健全財政を維持している。地方債の残高は前年度より約3億2400万円減

少し約185億1288万円となった。また、経常収支比率や起債制限比率が改善しており、県内トップクラスの財政内容となっている。

▼請陳第3号30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出に関する件

《賛成》 伊藤和子議員

OECD（経済協力開発機構）諸国に比べ、日本は1学級当たりの児童生徒数が多い。文部科学省で「今後の学級編成及び教職員定数に関する国民からの意見募集」を実施したが、約6割が望ましい学級規模として26〜30人を選択している。

山形県ではさんさんプランで33人以下学級を実施し、全国に広がっている。少人数学級の検証も行われ、不登校の出現率や欠席率の低下が見られ、高く評価され、今年の学級編成標準の改定となった。国の制度で30人以下の学級になれば、県の負担も減る。GDP（国内総生産）に占

める公財政支出は、OECD加盟国中、日本は最下位。義務教育費国庫負担制度の国の負担割合が3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。

何よりも将来を担う子どもたちがどこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられるよう、意見書の提出を求める請願に賛成する。

意見書

9月13日に、委員会提出議案が全会一致で可決され、関係機関に送付されました。

免税軽油制度の継続を求める意見書（抜粋・要約）

軽油引取税は、平成21年度の地方税法の改正により、道路特定財源から一般財源化され、これに伴い、道路の使用に直接関連しない機械等に使用される軽油について設けられていた免税軽油制度が、平成24年3月末で廃止される状況にある。

されれば、観光及び農林水産業全般に大きな打撃を与えることが危惧される。よって、国において、観光産業や農林水産業等幅広い産業への影響を鑑み、免税軽油制度を継続するよう強く要望する。

（衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・国土交通大臣あて）

教育委員会委員の任命に同意

現教育委員会委員の西尾信吾氏が、平成23年9月30日をもって任期満了となることに伴い、後任として本田孝之氏（長岡北）を任命することに同意しました。

9 月 定 例 会

平成23年度第3回定例会（9月定例会）は、8月24日から9月13日までの21日間の会期で開催されました。

平成22年度決算議案14件、平成23年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案10件、条例議案等6件及び請願2件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、9月13日の本会議で採決が行われました。また、追加議案の人事案件1件及び委員会提出議案の意見書1件の採決も行われました。結果は下記のとおりです。（意見書については14ページ、請願審査の結果については16ページに掲載しています。）

審 議 日 程

月 日	内 容
8. 24	本会議（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など）
8. 26 29	本会議（市政に対する一般質問）
8. 30	本会議（議案に対する総括質疑、議案・請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査）
8. 31	環境福祉常任委員会（付託案件の審査） 経済建設常任委員会（付託案件の審査）
9. 1～2 5～6	決算特別委員会（付託案件の審査、討論・採決）
9. 7～8	予算特別委員会（付託案件の審査、討論・採決）
9. 13	本会議（委員長報告、質疑・討論・採決など）

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

議案番号	件 名	結 果
認第1号	平成22年度天童市一般会計決算	認 定 (賛成多数)
認第2号	平成22年度天童市国民健康保険特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第3号	平成22年度天童市老人保健特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第4号	平成22年度天童市用地買収特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第5号	平成22年度天童市財産区特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第6号	平成22年度天童市交通災害共済事業特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第7号	平成22年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第8号	平成22年度天童市鉾ノ町土地区画整理事業特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第9号	平成22年度天童市介護保険特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第10号	平成22年度天童市市民墓地特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第11号	平成22年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第12号	平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認 定 (全会一致)
認第13号	平成22年度天童市水道事業会計決算	認 定 (全会一致)
認第14号	平成22年度天童市民病院事業会計決算	認 定 (全会一致)
議第9号	平成23年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第10号	平成23年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第11号	平成23年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件 名	結 果
議第12号	平成23年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第13号	平成23年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第14号	平成23年度天童市鉾ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第15号	平成23年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第16号	平成23年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	平成23年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	平成23年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第19号	天童市特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第20号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第21号	天童市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第22号	町及び字の区域並びに名称の変更について	原案可決 (全会一致)
議第23号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第24号	天童市立第一中学校改築等事業用地の取得について	原案可決 (全会一致)
議第25号	天童市教育委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)

（委員会提出議案）

議案番号	件 名	結 果
委員会提出議案第2号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

市民の声

今回、市立高揃公民館分館連絡協議会の研修の一環として、8月29日午前10時の開会からお昼までの2時間、松田光也議員、結城義巳議員、後藤和信議員による市政に対する一般質問と市長をはじめ市側の答弁を傍聴しました。

市議会を傍聴して

さいとう かつし 齋藤 捷史(高揃)

3月11日の東日本大震災による大津波・原発事故は、岩手、宮城、福島三県に甚大な被害をもたらしました。また、原発事故による放射能汚染や風評被害は、山形県の産業や私達の生活にも大きな影響を与えております。

中学生の育成については、時宜を得た質問であったと思います。困難な状況の中で前向きに問題を捉えていこうとする市長をはじめ市側の答弁を拝聴し、市政に対する熱意を感じました。

印象に残った質問事項は、結城義巳議員の「天童市民病院の経営について」でした。市民病院として経営の確立・改善の質問でありましたが、即経営に反映させ改善し、安定を図ることは困難な問題もあるが、積極的に経営に取り組み改善したいとの病院側の答弁でした。市民病院として市民の「健康の砦」として経営を安定していただきたいと強く感じました。

私自身もこれを機に市政を理解し参画していきたいと思いました。

12月定例議会の日程(予定)

- 11月30日(水) 本会議(初日)
- 12月5日(月) 一般質問
- 6日(火) 一般質問
- 7日(水) 常任委員会
- 8日(木) 常任委員会
- 9日(金) 予算委員会
- 12日(月) 予算委員会
- 15日(木) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、11月21日(月)正午までの予定です。

※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は3件で、所管常任委員会にて審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
県道23号と荒原線をつぶす道の拡幅整備に関する請願	奈良沢部落会 区長 今田富雄 ほか2名	経済建設	採択 (賛成多数)
免税軽油制度の継続に関する件	東北索道協会山形地区部会 部会長 齋藤左衛門 財団法人天童市牧野公社 理事長 山本信治	総務教育	採択 (全会一致)
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出に関する件	山形県教職員組合 山形地区支部 支部長 早坂久佳	総務教育	不採択 (賛成少数)

インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。約1週間後には録画でもご覧になれます。また市議会の詳しい内容(議会構成、議員名簿、会議録、議会だより等)はホームページにてご確認できます。ご意見・ご感想をお寄せください。

天童市議会 で 検索

編集後記

●9月の改選により広報委員会のメンバーも新たな顔ぶれになりました。新戦力として新人議員2名も加わり、新発想をもって取り組んでまいります。

●モットーは市民の誰もが読みやすく理解しやすい事。そして親しまれ、継続して読まれる「市議会だより」を目指します。そのため改善すべき点は改善してまいります。

●ご一読いただいた皆様、ご意見・ご感想をたくさんお寄せください。委員会一同、お待ちしております。

《新広報委員会》

委員長 狩野 佳和
副委員長 矢萩 武昭
委員 伊藤 和子
" " " 結城 義巳
" " " 遠藤 敬二
" " " 武田 正二

